

認知症になっても住み慣れたまちで暮らし続けるために、認知症の方やそのご家族に早期から関わる『認知症初期集中支援チーム』が活動しています。

●認知症初期集中支援チームとは？

認知症の専門医と、専門知識をもつ医療や介護のスタッフで構成された専門職のチームです。

●どんなことをするの？

認知症の方（疑いのある方）やそのご家族を訪問し実態把握を行います。病院受診や介護サービスの利用、ご家族への支援などを集中的に行います。

●支援の対象となる方は？

自宅で生活している40歳以上で、認知症の症状などでお困りの方です。

例)「認知症かもしれないけど病院に行きたがらない」「介護サービスを利用したけどうまくいかない」「認知症の症状が強くてどう対応したらいいかわからず困っている」など

認知症は

早期発見 早期診断
早期対応 が大切です。

早目に専門スタッフに
相談しましょう。

支援の流れ ～認知症が気になったら～

地域包括支援センターに相談（電話でも可）

本人、家族、地域の方など、どなたでもご相談ください。

自宅を訪問

医療や福祉の専門職が自宅を訪問し、認知症の実態把握を行います。

認知症初期集中支援チーム員会議の開催

認知症の専門医と医療や福祉の専門職が会議を行い、支援の方法や方針を話し合います。

必要な支援の実施

必要に応じて医療や介護のサービスにつなげるなど、本人や家族に合わせた支援を行います。

認知症が気になる方、認知症の家族のことでお悩みの方は、伯耆地域包括支援センターへご相談ください。

問い合わせ先

伯耆地域包括支援センター（健康対策課生活相談室内） TEL:0859-68-4632



二部集落支援員
活動レポート vol.14

平成から令和になって初めての年末を迎えました。集落の活性化という問題は元号が変わっても、変わる事無く取り組まないと進みません。

先日、鳥根県美郷町のNPO法人別府安心ネットへ先進地視察という形で見学に行き、説明を聞かせて頂きました。その地域は交通空白地域が存在しているため、買物・病院通い等の支援をしているとの事でした。伯耆町ではデマンドバスが活用されていますが、一例を言えば、

NPOでは有償移送の認可を受けて病院への送り迎え（診察時間は運転手は拘束）で拘束時間分は有償との事でした。

あげればキリがありませんが、少なくとも今の二部地域では人材、経費等考えると実現は難しいように感じました。その取り組みの中で何か参考になれば近い将来につながるんじゃないか、考えてみたいと思います。

山本芳史